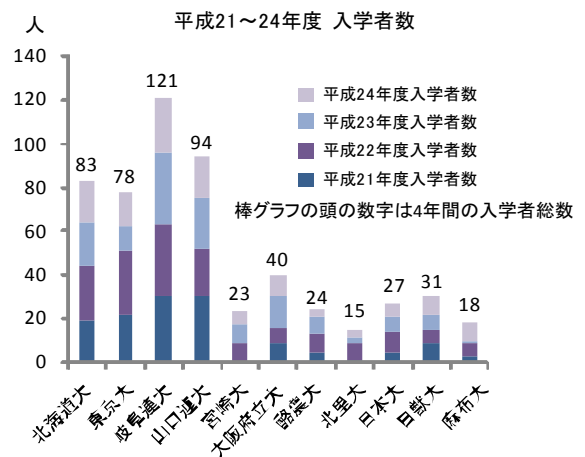


大学院進学者に関する追加調査 の分析結果について

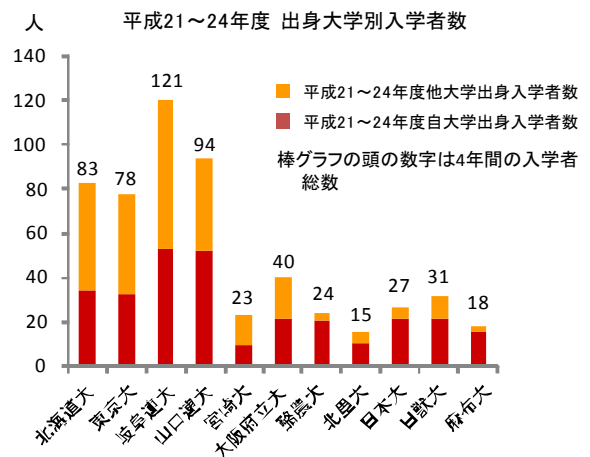
(1)各大学における入学者数の推移

- 平成21～24年度の入学者数は、554人であり、北海道・東京・岐阜連合・山口連合の4研究科が376人と全体の67.9%を占める。
- 各大学とも、入学者数は毎年一定しており、大きな変動はない。



(2)入学者の出身大学について

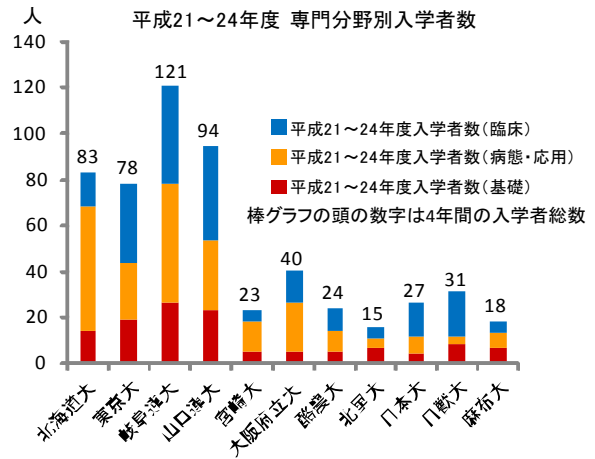
- 入学者の出身大学は、自大学出身者が289人、他大学出身者が265人であり、拮抗している。
- 国公立の研究科では他大学出身者が自大学出身者を上回る傾向にあるが、私立の研究科では自大学出身者が大部分を占める。



(3) 入学者の専門分野について

○ 入学者の専攻分野は、全国的に、基礎獣医学124人、病態・応用獣医学227人、臨床獣医学203人となっている。

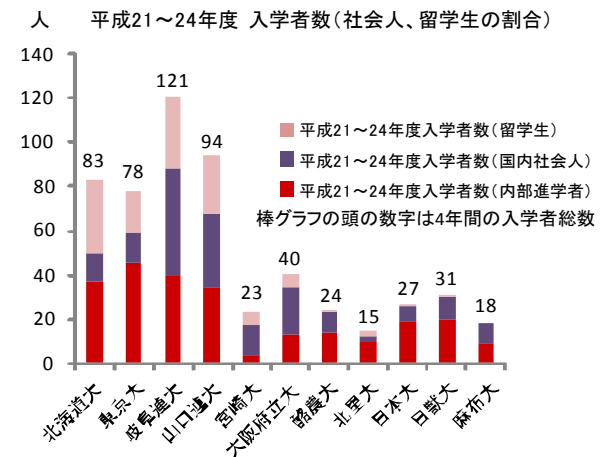
○ 研究科によって病態・応用獣医学専攻が多いところと(北海道、岐阜連合、宮崎、大阪府立)、臨床獣医学専攻の多いところ(東京、山口連合、酪農、日本、日獣)、基礎獣医学専攻の多いところ(北里、麻布)に分かれる。



(4) 入学者の前職の状況

○ 入学者は、国内大学からの内部進学244人、国内社会人181人、留学生129人となっている。

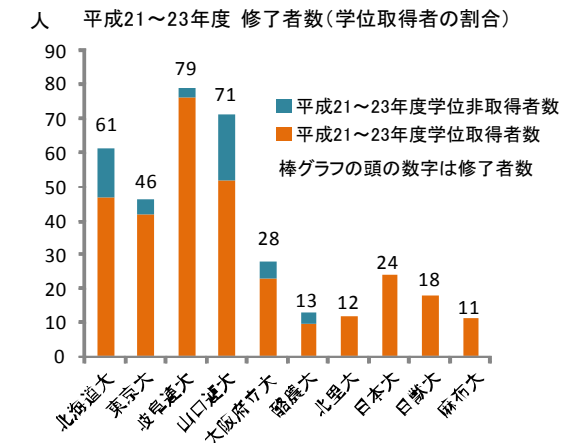
○ いずれの研究科も内部進学者が多いが、社会人と留学生の占める割合には大学間で差がある。社会人よりも留学生の比率の大きい(北海道、東京)、両者が同程度である(岐阜連合、山口連合、北里)、社会人の比率が多い(宮崎、大阪府立、酪農、日本、日獣、麻布)研究科に大別される。



(5) 修了者数と学位取得率

○ 平成21～23年度の修了者数は、計374人であり、平均在籍期間は4.5年。

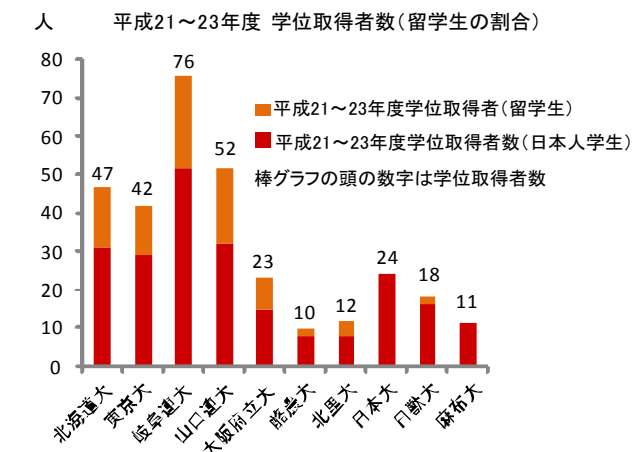
○ 学位取得率は87.2%。(北里、日本、日獣、麻布の修了者の取得率は100%。)



(6) 学位取得者における留学者の割合

○ 学位取得者374人のうち、留学生は89人。

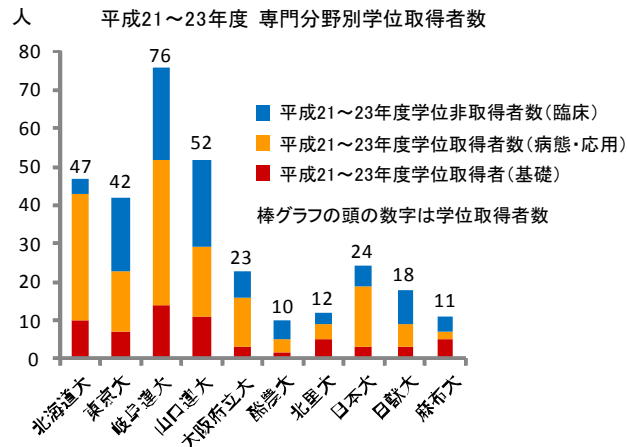
○ 北海道・東京・岐阜連合・山口連合の4研究科における留學生の学位取得者は73人で、全国の82%を占める。



(7) 学位取得者の専門分野

○ 学位取得者の専攻分野は、全国的に、基礎獣医学68人、病態・応用獣医学151人、臨床獣医学107人となっている。

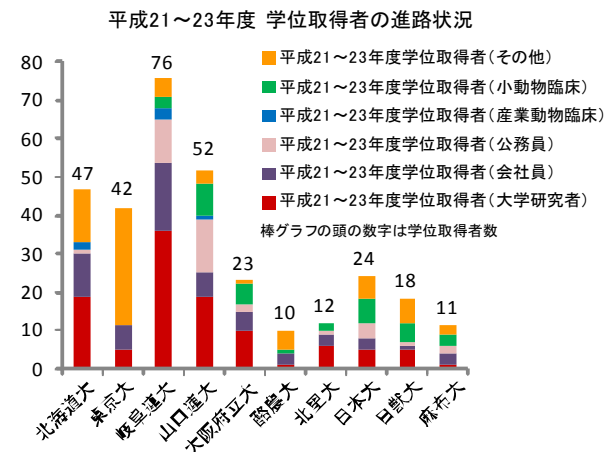
○ 研究科によって病態・応用獣医学専攻が多いところと(北海道、岐阜、大阪府立、日本)、臨床獣医学専攻の多いところ(東京、山口連合、酪農、日獣)、基礎獣医学専攻の多いところ(北里、麻布)に分かれる。これは、入学者の分布パターンと一致する。



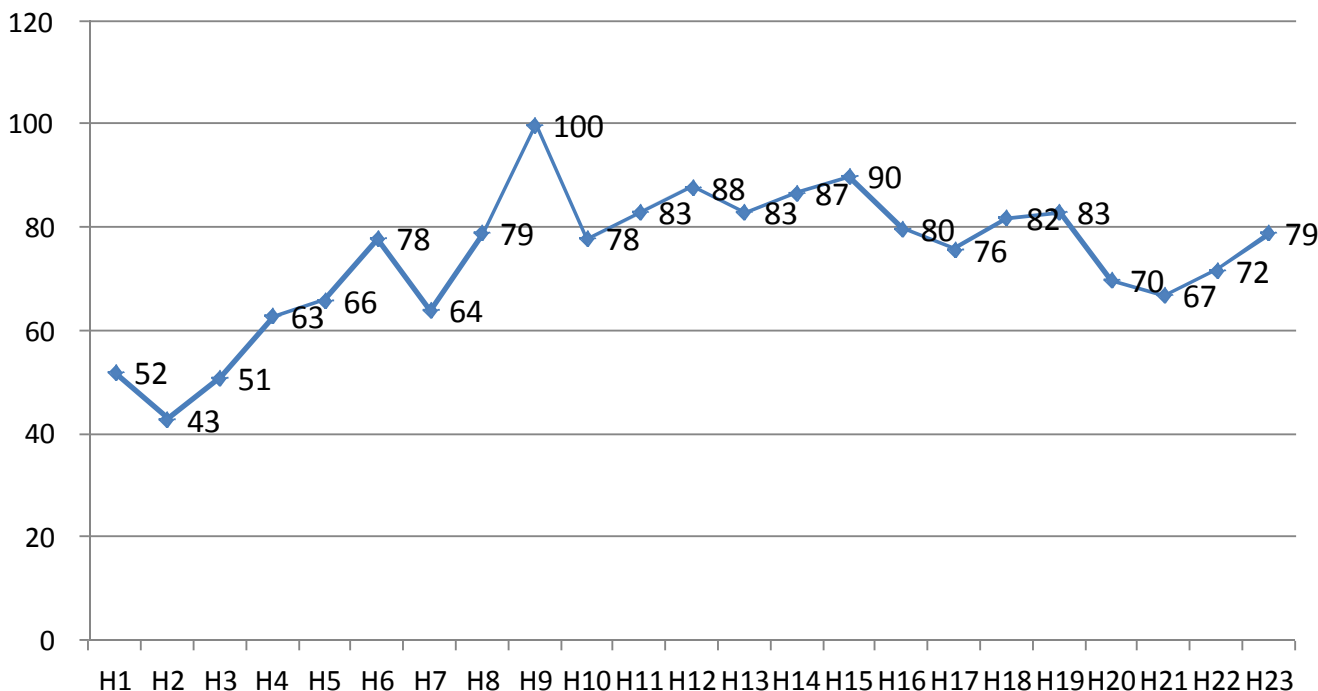
(8) 学位取得者の進路状況

○ 全国的に最も多いのは大学の研究者108人(全体の33.1%)であり、北海道、岐阜連合、山口連合、大阪府立の4研究科で84人(全体の77.8%)を占める。

○ 次いで、会社員(62人)、公務員(38人)、臨床医(産業動物6人、伴侶動物36人)、その他(76人)となっている。



獣医学部・学科の新規卒業者のうち進学者数の推移



※獣医系以外の研究科に進学したものを含む。

※出典: 農林水産省「家畜衛生週報」